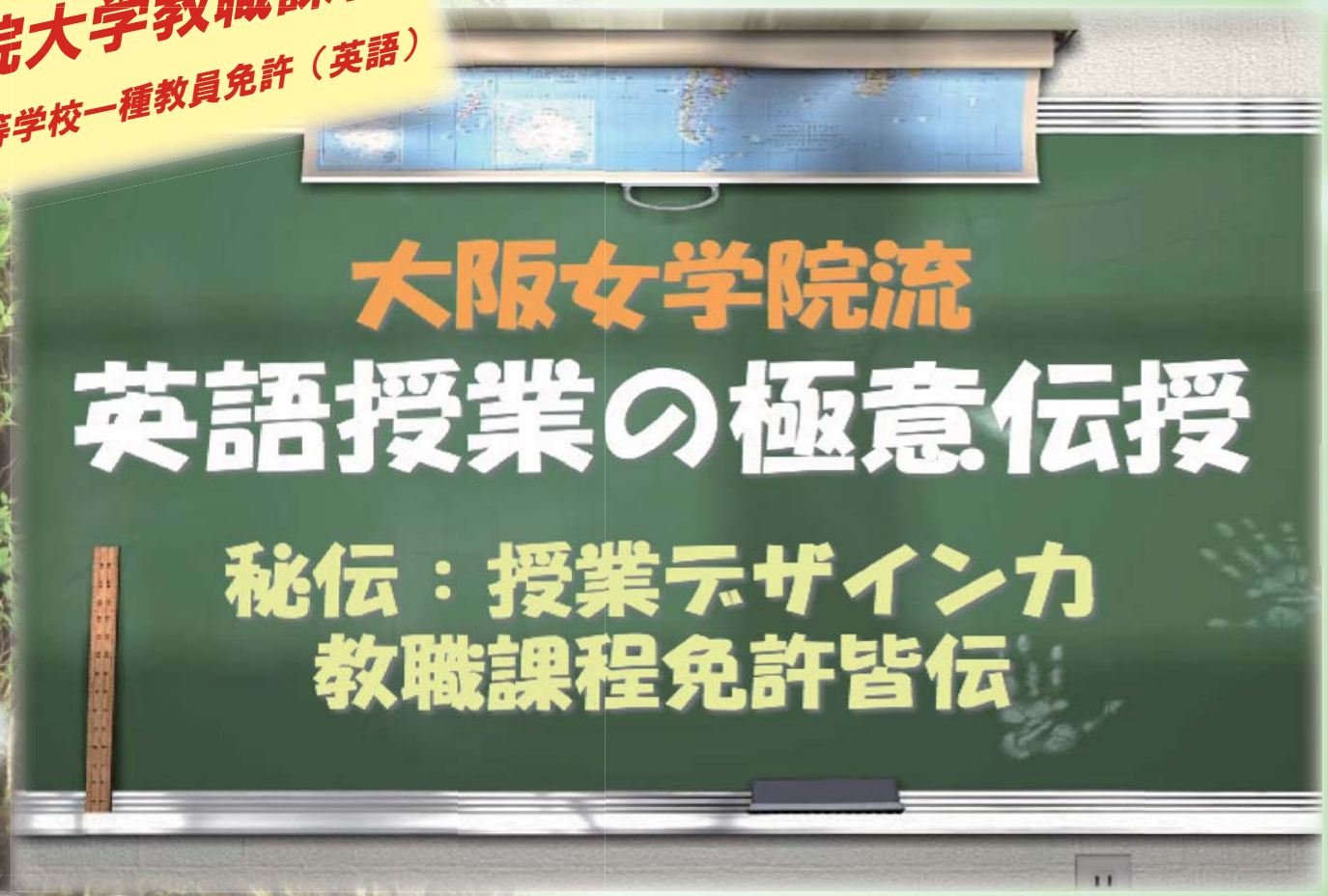
大阪女学院大学教職課程

中学校一種・高等学校一種教員免許（英語）



大阪女学院大学
教員養成センター

教員養成に対する理念・構想

財政的・人的に経営規模の大きい大学と比べて、定員がわずか 150 人（×４学年）の小規模である本学が、大規模・中規模校と並んで教職課程を設置するには教員養成に対する強い意志と高い志が必要である。

本学は教育方針で「すべての教育は、人格教育が目的」と謳っている。本学では一人ひとりの学生が、自分自身の存在の究極的な価値に気づき、人間として自他の尊厳を自覚し、他者のために共に働くことができるような人間として成長し、社会に出ていくことができるように助力することを教育の核心と考え、そのための教育課程を展開している。

教員養成においては、小規模校のきめ細かな教育−少人数展開授業、教職サークル活動、卒業後や教員になってからの英語教科指導法や教材開発の相談活動等−を実施することで、教職志望者一人ひとりに教職の責任の重さをしっかり認識させると同時に学習指導のための実践的なスキルの着実な習得を図り、小規模校ならではの教員養成課程の一モデルを築きあげる所存である。

少子化の時代に育ったゆえか、対人関係に希薄で、「本気で頑張った経験が少ない」「保護者が子どもに関与する度合いが強まっている」「全面的に否定されたことがなく、ちょっとできないことがあると激しく落ち込む」「マイナスの状況に対応できない」「待っていて都合のいいものだけを取り入れる。私的価値観を重視する傾向が強い」などの最近の中学生、高校生や若者に見られる現実の傾向・特徴に対応できる教員を養成することも教員養成の大きな理念の一つになる。

いつの時代にも教師に求められる資質能力として「専門性」「人間性」「社会性」「広く豊かな教養」「教員としての使命感、責任感」が求められているが、本学では、「コーディネート能力」「創造性のあるプロデュース能力」「開発能力」「協働して教育課題に立ち向かうための支え合う同僚性」の育成をこれからの教員に必要な資質能力に加えて、教員養成構想の基盤概念とする。

そのため、めざす教員像として、
・教育的困難・課題を克服する使命感、確かな授業力を培う専門的知識、豊かな教養を有する教員
・先行き不透明な時代において、現代の豊かさにどう対処するか、複数の視点を持ち、一元的でなく多元的な価値観を有する教員
・柔軟性や人間的な奥行きのある教員
を教員養成の基本構想とする。

これらの教員養成のためには、入学早期から教員という職業の責任の重さをしっかり理解し、自己の教職適性と課題を十分に自覚させることが大切である。教職科目とは別に、教養科目として「教育と人間」を設置し、教育現場から幅広い講師の特別講義を受け、教育問題等への理解を促し、教職への気づきを入学早期から高める教職キャリア形成を図ることとする。

（文部科学省へ教職課程の設置申請時に提出した「設置理念」より部分抜粋）

人と人の関わりから
教育は生まれる。
教育に臨むよろこびを
育てたい。
教育の大切さを
自覚させたい！

教職講座：「教育と人間」開講シラバス

「教育と人間」　　１年次夏季集中講座

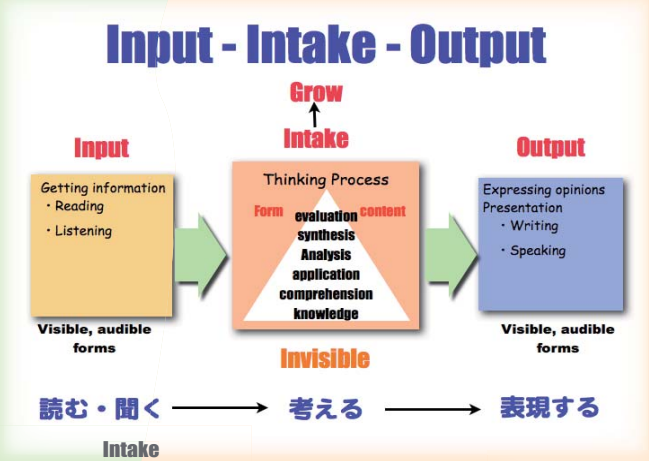
授業の概要
・教職をめざす学生に，教職への情熱と自覚を促し，教職を相互に自律した個人として自己を形成していくテーマと捉え、教育の本質とは何かを問う授業を行う。
・様々な指導例・エピソードをもとに学校における教職の意義の実際的な理解を図る。

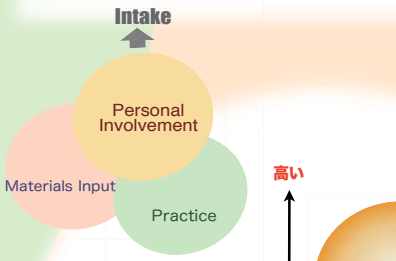
授業計画
第１回　生徒の心を開くコミュニケーション活動
第２回　討論：指定図書『青い鳥』　村内先生の教育：生徒との接し方
第３回　討論：指定図書『青い鳥』　村内先生の教育：生徒との接し方
第４回　講演「中学生を教えながら教えられながら」（現職中学校教員）
第５回　講演「中学生を教えながら教えられながら」（現職中学校教員）
第６回　講演を聴いて　「生徒の心を開くコミュニケーション」とは
第７回　講義・演習　「新聞記事に見る教育課題　①」
第８回　講義・演習　「新聞記事に見る教育課題　②」
第９回　講義・演習　「今求められる教育とは　①」
第１０回　講義・演習　「今求められる教育とは　②」
第１１回　討論：指定図書『灯し続けることば』　大村はまの教育哲学
第１２回　討論：指定図書『灯し続けることば』　大村はまの教育哲学
第１３回　講演「高校生を教えながら教えられながら」（現職高等学校教員）
第１４回　講演「高校生を教えながら教えられながら」（現職高等学校教員）
第１５回　講演を聴いて　「生徒の意欲を高める」とは
第１６回　指定読書によるスピーチと教育問題のプレゼンテーション
第１７回　指定読書によるスピーチと教育問題のプレゼンテーション
第１８回　まとめ

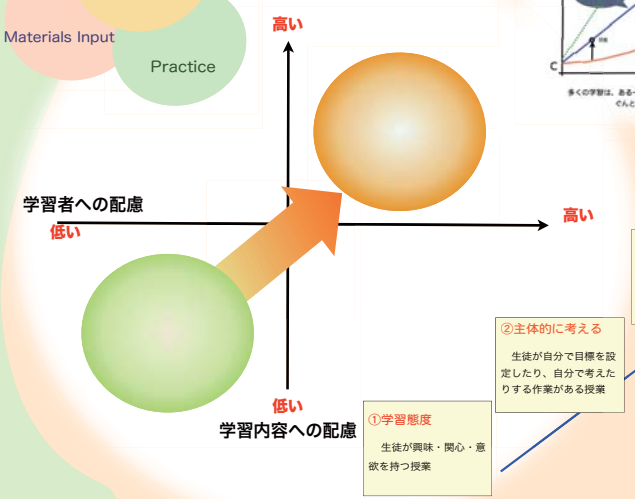
自分への問いかけ

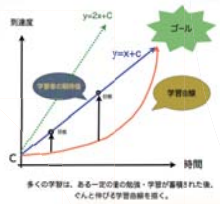
What's important is not what I did in class, but what I have produced in class!

何をやったかでなく、何を生み出すことができたかが大切なのだ！









①学習態度
生徒が興味・関心・意欲を持つ授業

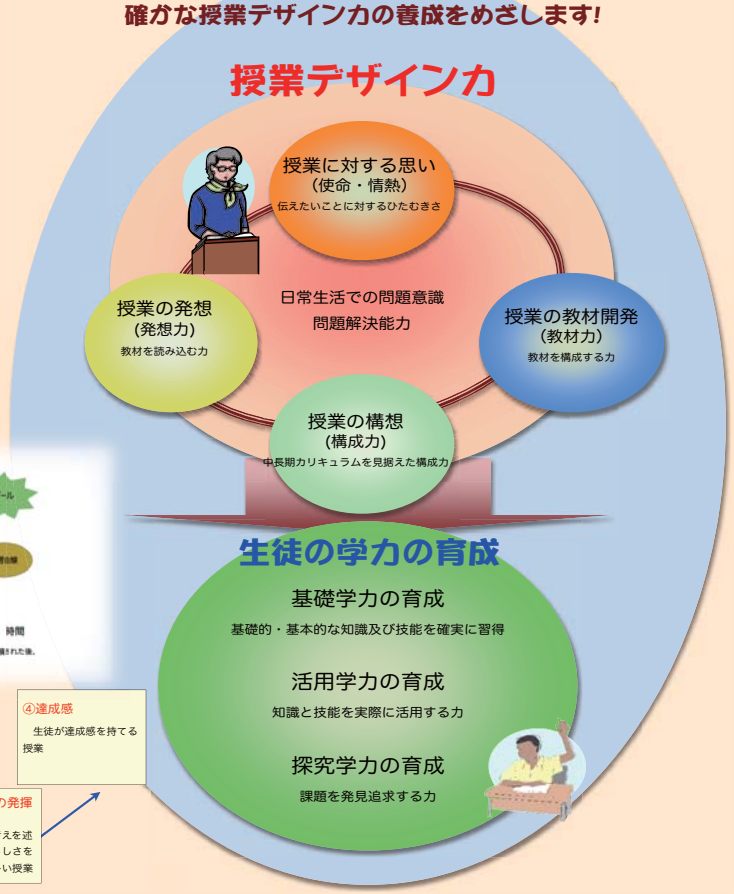
②主体的に考える
生徒が自分で目標を設定したり、自分で考えたりする作業がある授業

③自分らしさの発揮
生徒が自分の考えを述べるなど、自分らしさを表現する機会が多い授業

④達成感
生徒が達成感を持てる授業

大阪女学院大学 教職課程

確かな授業デザイン力の養成をめざします！



授業デザイン力	授業に対する思い	授業に対するひたむきさ：使命、情熱	
	学習者の把握：学習意識調査、学習レベルのアセスメント		
	目標の設定：長期（学期単位・学年単位）・短期（レッスン単位・学期考査単位）		
	授業の発想 授業の構想 教材の作成 レッスン計画	教材の読み込み：教材の構成確認、補助教材の選択・創作 授業内容の構成：授業の目標をいかに展開するか 授業過程の俯瞰 学習方法・学習形態・教育機器の選択	
		レッスン（単元課）の指導計画 授業進行案（学習指導案）の作成 学習評価計画の作成	
授業展開力	コミュニケーション	話しかけ Verbal Approach	説明・解説
			助言・指導
			モデル・リーディング
			例示
			発問（問いかけ）
			指示
			進行
			応答（質問に対する）
			ことばづかい
		態度・パフォーマンス （Non-verbal Approach）	ジェスチャー
			視線
			表情
			演技：授業内容、指導
	ポジション	教室内での立ち位置	
		授業内容に関わりのない言動への対応	
	教材・教具	板書	内容構成と選択
			記載表現
		資料・機器の使用	補助資料・補助プリントの使用
			ITなど教育機器の使用
	学習者の評価活動：学習者の自律的な学習を促進するための振り返り		
授業評価力	授業の振り返り、アクションリサーチ：授業の改善		

授業力とは、授業デザイン力、授業展開力、授業評価力を総合した力である。授業展開時での指導技術は教員に欠かせない資質能力であるが、授業の効果を一番左右するものは授業デザイン力である。この出発点の構想・計画は授業の生命となる。

そのため本学では、教材をしっかり読み込み、教材の構成を確認し、英語授業としてどのようなねらい・目標を設定するのがいいのかを検討し、それを実現させるための教材準備、発問の工夫、コミュニケーション活動の計画など、確かな授業デザイン力を育成することを教員養成の第一目標としている。

何かをデザインする力，プロデュースする力がこれからの教育にますます必要になると考えている。

大阪女学院大学 教職課程・教員養成センター　ブランド確立のための方針

「信　頼　性」

教職課程設置理念

財政的・人的に経営規模の大きい大学と比べて、定員がわずか150人（×４学年）の小規模である本学が、大規模・中規模校と並んで教職課程を設置するには教員養成に対する強い意志と高い志が必要である。教員養成においては、小規模校のきめ細かな教育―少人数展開授業、教職サークル活動、卒業後や教員になってからの英語教科指導法や教材開発の相談活動等―を実施することで、教職志望者一人ひとりに教職の責任の重さをしっかり認識させると同時に学習指導のための実践的なスキルの着実な習得を図り、小規模校ならではの教員養成課程の一モデルを築きあげる。

① 豊かな人間性と社会性を育む教育理念をもとに厳しく鍛えられた英語力を有する本学の学生の中から、未来を担う生徒の教育に貢献する人材を送り出す。
② 教職課程（教育実習を含む）の学習を通して教育問題や教員の仕事の難しさを知り、生徒及び人間の根源的な理解を深めるばかりでなく、自己理解と自己変革の場とする。
③ 教職に就かなかったとしても、聡明な親として、地域の教育を支える住民の一人として、学校教育の良き理解者となり、日本の未来をつくる教育を支え充実させる基盤となるよう養成する。

- 確かな指導力に裏打ちされた教育を行うこと
- 教職課程設置理念・趣旨を守ること
- 誠意ある指導と対応を行うこと

- 授業力向上のための研究開発を発信すること
- OJC オリジナルで創意工夫のある活動を行うこと
- ニーズに応じた迅速な対応と確信のある不動の対応

学内：授業力を高める教育内容・きめ細やかで工夫のあるサポートの実践

≪教職授業の充実≫

- **教職への自覚を促す教育内容**
  現代の教養科目「教育と人間」を１年次に受講
- **これから教員に必要な資質能力を育成する内容**
  「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」による教授法理論の修得と実践でのあり方の習得
- **授業力を高めるための具体的な取組を扱う実践演習**
  「教育方法の理論と実践」「授業デザイン・スキルアップ演習」などによる実践的な演習

≪英語力の充実≫

- 「国際・英語」学部としての英語力の育成
  Grammar, Phonetics, Topic Reading, Theme Studies, Study of Current World Event 等
- TOEFL550 点、TOEIC730 点以上の英語力と教授力の育成

≪介護体験活動≫

- 「小学校及び中学校の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」として定めら介護体験活動*(７日間)*を実施する

≪学校フィールドワーク活動≫

- 初等中等教育（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校）の現場に赴き、学習支援、野外活動支援、文化活動支援、部活動支援などを課外無償ボランティアとして行う。

≪OJC 教職サークル活動≫

- 教職サークル活動を通じて、授業で活用できる教材の収集作成や教育専門書リスト管理を行い、教職課程における授業の支援を行う。
- 「OJC 教職キャリアファイル」というポートフォリオを用いて、担当者による面談活動を行う。
- 学外研究会への参加と報告会の実施
- 「教え方研究会」などの勉強会を実施し、幅広い視野を育成する。

≪教員採用試験対策≫

- ２年秋学期より、一般教養対策としての国語・数学などの講習を始める。
- ２年修了時に教職課程履修要件として学内での資格審査試験を実施する。
- ３年次より教職科目対策
- 面接指導を行う
- 教員採用試験対策公開模試の受験

- **教員の基本的資質としてのコミュニケーション能力を育成する。**
- **実践的な指導力を身に付けさせる。**

学外：現場に役立つ教育情報の発信・現職教員との協同活動の実践

≪OJC教員養成センターHPの充実≫

- 英語教育巻頭エッセイ　（毎月更新）
- 教育ニュース発信　（随時更新）
- 英語教育参考書籍紹介　（随時更新）
- 授業の玉手箱・実践指導例紹介　（毎月更新）
- 自作リスニング・リーディング教材

≪教員養成センターNewsletter 発行≫

- 現場教員の声を掲載した特集記事を編集することにより、教員の関心を高めると同時に教員のやる気を高める。現場に役立つ記事の発信により、本学の真摯で情熱ある教職への取り組みを評価してもらう。
- 本学開催の研修・講座などの紹介を行い、本学の取り組みの理解を得る
- 年３回（4/9/1 月）発行

≪ML による情報配信）

- OJC 教員養成センター掲載の教育関係ニュースや教材紹介、勉強会での実践事例などを配信する。
- 現場の教員の教科指導法や教育課題の声を聞き取る。

≪実践報告集の発行≫

- 勉強会や投稿原稿の報告集(50 ページ)を毎年まとめ、現場へ配付する
- 現職教員の日々の授業を取り上げ、共有しやすい内容とする。実際に役に立つ報告編集を心がける。

≪OJCTN≫　OJC 教職ネットーワーク

Osaka Jogakuin College Teachers’ Network

- 現職の学校教員との協同研究開発を通して、授業力の向上をめざした教材研究資料、授業案、教材作成、役立つサイト情報収集活動を行う。
- 教材開発や指導法の研究に努め、学校現場に提供する。

≪教員研修･講座の実施≫

「授業デザイン・スキルアップ演習」

- 夏季集中講座として、現職教員向けの講座を開講する。本学教職課程履修生も受講させ、協同の学びの場を創る。
- 「教員免許状更新講習」と合併して実施する。
- 教員養成センター担当以外の本学教員や外部教員にも講師を依頼していく。

≪勉強会の実施≫

- 毎月第三土曜日に「教え方研究会」を開催予定し、現職教員や本学教職課程履修生で、効果的な指導法について発表や討論・輪読会を行う。
- 発表事例は整理してまとめ、実践報告集に掲載する。

現職教員とのコミュニケーションを大切にし、現場目線に立った教材開発、授業研究・指導法研究を行う！

大阪女学院大学　教職課程履修のプロセス

＝確かな授業力（おもしろい教材を見つけ、どう問いかけながら展開するか）を身につけ、豊かな英語授業ができる教員を養成する＝

≪養成する教員人材像≫

・教育的困難を克服する使命感、確かな授業力を培う専門的知識、豊かな教養を有する教員　・現代の豊かさにどう対処するか、複数の視点を持ち、一元的でなく多元的な価値観を有する教員　・柔軟性や人間的な奥行きのある教員

大阪女学院の英語・教職カリキュラム

	教科に関する科目・66条6科目	英語カリキュラム	授業	教職カリキュラム	教職に関する科目・教職準備活動	教職支援と検証
	修得ステップと検証					
1年生 計画	◆教科に関する科目 14単位 ◆66条6科目…7単位 ◆教職に関する科目 2単位 ●TOEIC-IP得点チェック 500点以上	■英語学 ・Grammar（2単位・通年） ・Topic Writing（6単位・通年） ■英語コミュニケーション ・Topic Reading（6単位・通年） ■外国語コミュニケーション ・Topic Discussion（3単位・通年） ■体育 ・身体活動（1単位・半期） ・身体への気づき3（1単位・半期） ■情報機器の操作 ・情報の理解と活用（2単位・半期）		■教職の意義 ・教職概論（2単位 半期・秋） ■教職オリエンテーション ・教職ガイダンス…4・8・2月 ■教職サークル活動 ■教職キャリアファイル		◆教職講座 「教育と人間」…教職の重責の理解　夏季集中講座 ◆教員養成センターNL発行（年3回） ●教職資格準備テスト
2年生 学び	◆教科に関する科目 12単位～ ◆66条6科目…2単位 ◆教職に関する科目 8～10単位 ●TOEIC-IP得点チェック 600点以上 ●基礎力確認テスト	■英語学 ・英語学（2単位・半期） ・[言語学（2単位・半期）] ■英米文学 ・英文学の巨匠 ・米文学の巨匠 ■英語コミュニケーション ・Study of Current World Events（4単位・通年） ・[Debate Ⅰ（2単位・半期）] ■異文化理解 ・異文化コミュニケーション論（2単位・半期） ・[国際理解とグローバル化]（2単位・半期） ■日本国憲法 ・日本国憲法（2単位・半期）		■教育の基礎理論 ・教育学概論（2単位・半期） ・教育心理学（2単位・半期） ・教育の制度と経営（2単位・半期） ■教育課程・指導法 ・教育課程論（2単位・半期） ・道徳教育の指導法（2単位・半期） ■教職ガイダンス…4・8・2月 ■介護等の体験申し込み手続き ■教職サークル活動 ■教職試験対策講座 ・一般教養（国語・数学・理科・社会）…夏季・秋季土曜		◆介護等体験事前オリエンテーション…9月 ◆全国公開模試（12月中旬・2月中旬） ◆教員採用試験対策春季ビデオ講座 ●教職資格テスト（3月）
3年生 学び 点検 準備	◆教科に関する科目 2単位～ ◆教職に関する科目 20単位 ●TOEIC-IP得点チェック 695点以上 ●教育実習資格試験	■英語コミュニケーション ・Advanced Presentation & Discussion（2単位・半期） ・[Teaching of English Phonetics 音声指導法（2単位・半期）] ・[Language Acquisition 言語習得（2単位・半期）]		■教育課程・指導法 ・英語科教育法Ⅰ（4単位・通年） ・英語科教育法Ⅱ（4単位・通年） ・特別活動の指導法（2単位・半期） ・教育方法の理論と実践（2単位・半期） ・教育の方法と技術（2単位・半期） ■生徒指導・進路指導 ・生徒指導の理論と方法（2単位・半期） ・進路指導の理論と方法（2単位・半期） ■教育相談 ・教育相談の理論と方法（2単位・半期） ■教職ガイダンス…4・8・2月 ・介護等の体験先日程決定（4月） ■介護等の体験実習（5月～11月） ■学校フィールドワーク ■スクールサポートボランティア ■教職試験対策講座 ・教職教養・一般教養		◆教育実習説明会1（内諾説明会…4月） ◆実習希望校訪問・内諾書提出 ◆介護等の体験事前説明会、健康診断書 ◆教員採用試験対策春季講座合宿 ◆全国公開模試（12月中旬・2月中旬） ◆教育実習説明会2（3月） ●教職資格テスト（2月）
4年生 実践 改善 調整	◆教職に関する科目 5～8単位			■教育実習 ・事前事後の指導（1単位・半期） ・教育実習Ⅰ・Ⅱ（2単位（高）・4単位（中）） ■教職実践演習（2単位・半期） ■授業デザインスキルアップ演習（夏季集中） ■教職ガイダンス…4月 ・教育実習指導 ■教職試験対策演習 ・面接 ・模擬授業		◆教員採用試験面接指導 ◆教員採用試験論作文指導 ◆全国公開模試（4月中旬・6月） ◆採用試験説明会 ◆教員採用試験（7月下旬～8月下旬） ◆教採合格者採用前指導

教科に関する科目…「英語学」「英米文学」「英語コミュニコーション」「異文化理解」　高一種28単位、中一種28単位
66条の6科目…「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニコーション」「情報機器の操作」…7単位

教職に関する科目…「教職の意義等に関する科目」「教育の基礎理論に関する科目」「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」「教育相談の理論及び方法」「教育実習」
高一種35単位、中一種39単位

ゴール：生徒の学習意欲を引き出す授業構想と展開の工夫ができる授業力を有する教員の養成　　中学校教諭一種免許状（英語）・高等学校教諭一種免許状（英語）

ホンモノの教員、本気の教員を育てたい

教員養成センター

・中高英語教育の実践的指導法の研究開発
・４年間で即戦力となりうる教員養成の在り方の研究、教職カリキュラム開発
・これからの教員に求められる資質能力の調査研究
・教育実践の効果検証方法等の研究開発

英語授業を豊かにするためのネットワーク

OJC 教職ネットは、本学教職課程履修学生、英語教育関係者・中学校高等学校英語科教員に、英語教育に役立つ情報を提供する WEB サイト

OJC　教職ネット

英語教育ニュース
・英語教育に関する最新の記事

英語教育随想
・英語教育を話題にしたエッセイ

英語教育指導案・アイデア集
・指導案、手作り教材、指導アイデアの紹介
・教え方勉強会の開催（月に一度）

英語教育掲示板
・英語教育に関する悩み・質問・意見交換

教職への早期自覚
英語教育のスキルアップをめざす

OJC 教職サークルは、教職課程受講の学生に悉皆加入させ、教職への確かな自覚を早期に養い、英語教育における指導理念を深めると同時に指導技術を高めることを目的に活動を行う。

OJC　教職サークル

教職への早期自覚
・教育に関する図書紹介
・教育課題の理解を深める

教職キャリアファイルによる指導
・教育に関する情報収集とコメントのポートフォリオ
・教育課題に関する自己の考え整理
・研究会参加による資料整理
・面談記録

英語教育勉強会・外部研究会参加
・指導案、手作り教材、指導アイデアの紹介
・教え方勉強会の開催（月に一度）
・外部研究会参加報告

学校・教育機関訪問
・学校フィールドワーク

基礎資格	学士の学位を有すること

免許取得に係る最低修得単位数

免許状の種類 ＼ 免許法で規定する科目	免許法で定める単位数		本学で定める単位数	
	高等学校教諭一種	中学校教諭一種	高等学校教諭一種	中学校教諭一種
教科に関する科目	20	20	28	28
※教科又は教職に関する科目	16	8	16	8
教職に関する科目	23	31	35	39

免許法施行規則第 66 条の6に定める科目	日本国憲法 体育 外国語コミュニケーション 情報機器の操作

力のある教員を育てる履修要件

第５条の２　教職課程履修者が、次年度継続して教職課程を履修できる要件は次のとおりとし、各学年の年度末に判定を行う。
(1) １年次終了時において TOEIC500 点以上であること
(2) ２年次終了時において TOEIC600 点以上であること
　及び英語基礎群科目の「Grammar-1」「Grammar-2」「Phonetics-1」「Phonetics-2」「Topic Reading-1」「Topic Reading-2」「Topic writing-1」「Topic writing-2」は修得のこと
並びに教育実習委員会が作成する 「教員資格基礎学力試験」を受験し、それに合格していること

第６条　教育実習の履修資格を次のとおりとし、「教育実習」履修の希望者に対し、教育実習委員会による面接審査等を行い、履修許可者を決定する。
〔教育実習履修資格〕
教育実習は、第４年次の学生で、次の要件を充足し、成績が優秀であり、教職に就く意志が強固である者
３年次終了時において
(1) 卒業要件とする単位の内、未修得単位が 24 単位以内であること。ただし３年次にセメスタ留学した者については、この限りではない。
(2)『教職に関する科目』の内、３年次配当までの各科目をすべて修得していること
(3) 次の基準を充たしている者であること。
ア.「教科に関する科目」における修得科目の G.P.A が 2.0 を超えていること
イ,「教職に関する科目」における修得科目の G.P.A が 2.0 を超えていること
ウ.TOEIC730（誤差範囲内を含む）点以上の資格を有すること
(4) 同和教育に係る講座を含めて、本学の「人権教育講座」を２年間に亘って完全出席し、単位を修得していること
(5) ３年次に実施される教育実習ガイダンスに出席している者

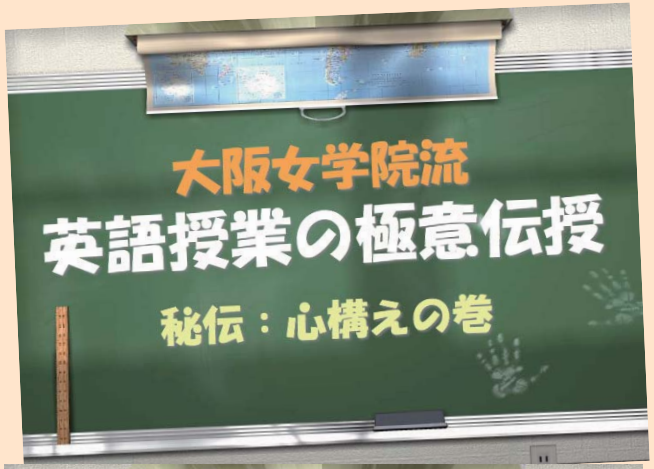
教科等に関する科目

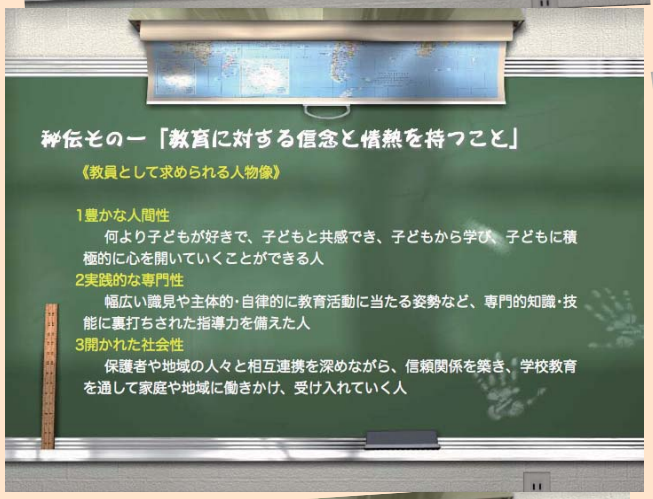
	免許法施行規則に定める科目	本学で定める最低修得単位数	本学授業科目	単位	必修	選択	配当年次	備考
教科に関する科目	英語学	14	英語学	2	○		2・3	
			Grammar-1	1	○		1	
			Grammar-2	1	○		1	
			Topic Writing-1	3	○		2	
			Topic Writing-2	3	○		2	
			言語学	2		○	2・3	
	英米文学	4	英文学の巨匠	2	○		2	
			米文学の巨匠	2	○		2	
	英語コミュニケーション	8	Topic Reading-1	3	○		1	
			Topic Reading-2	3	○		1	
			Study of Current World Events-1	2	○		2	
			Study of Current World Events-2	2	○		2	
			Advanced Presentation & Discussion	2	○		3	
			Teaching of English Phonetics(音声指導法)	3		○	3・4	
			Language Acquisition（言語習得）	3		○	3・4	
			Debate Ⅰ	2		○	2・3	
	異文化理解	2	異文化コミュニケーション論	2	○		2・3	
			国際理解とグローバル化	2		○	2・3	
免許法施行規則第66条の6に規定する科目	日本国憲法		日本国憲法	2	○		2	
	体育		身体活動	1	○		1	
			身体への気づき3	1	○		2	
	外国語コミュニケーション		Topic Discussion-1	1.5	○		1	
			Topic Discussion-2	1.5	○		1	
	情報機器の操作		情報の理解と活用	2	○		1	

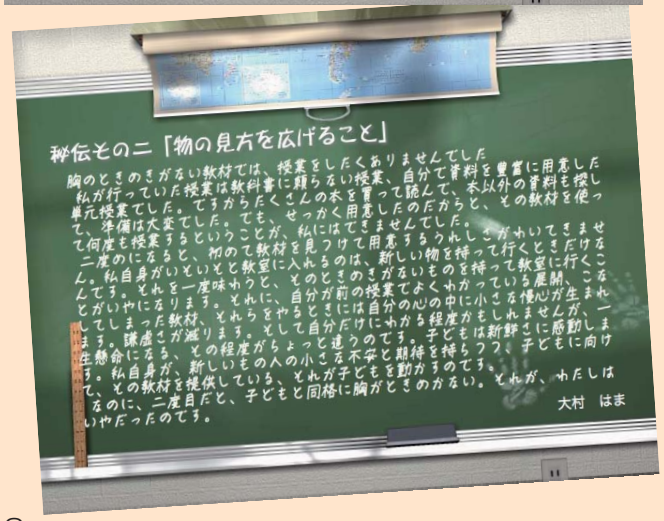
（2） 教職に関する科目

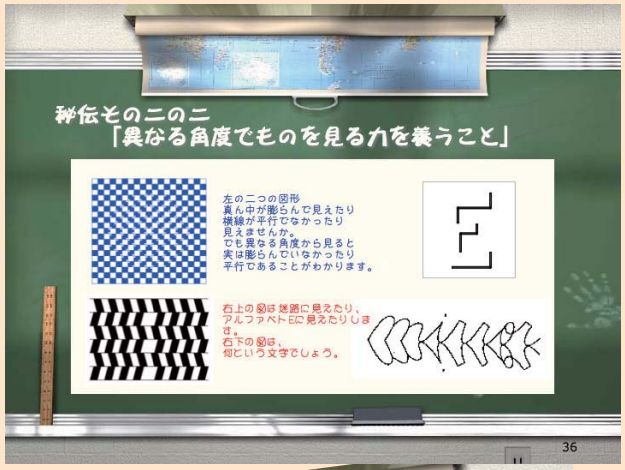
免許法施行規則に定める科目		本学授業科目	単位	必修	選択	開校形式	配当年次	備考
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職概論	2	○		半期	1	
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	2	○		半期	2	
		教育心理学	2	○		半期	2	
		教育の制度と経営	2	○		半期	2	
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2	○		半期	2	
		英語科教育法 Ⅰ	4	○		通年	3	
		英語科教育法 Ⅱ	4	○		通年	3	
		道徳教育の指導法	2		○	半期	2	中免のみ必修
		特別活動の指導法	2	○		半期	3	
		教育方法の理論と実践	2	○		半期	3	
		教育の方法と技術	2	○		半期	3	
		授業デザインスキルアップ演習	1		○	集中	4	
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論と方法	2	○		半期	3	
		進路指導の理論と方法	2	○		半期	3	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	○		半期	3	
第5欄	教育実習	事前及び事後の指導	1	○			4	
		教育実習Ⅰ	4		○		4	中免のみ必修
		教育実習Ⅱ	2		○		4	高免のみの取得希望者対象
第6欄	教職実践演習	教職実践演習（ 中 ・ 高 ）	2	○		半期	4	

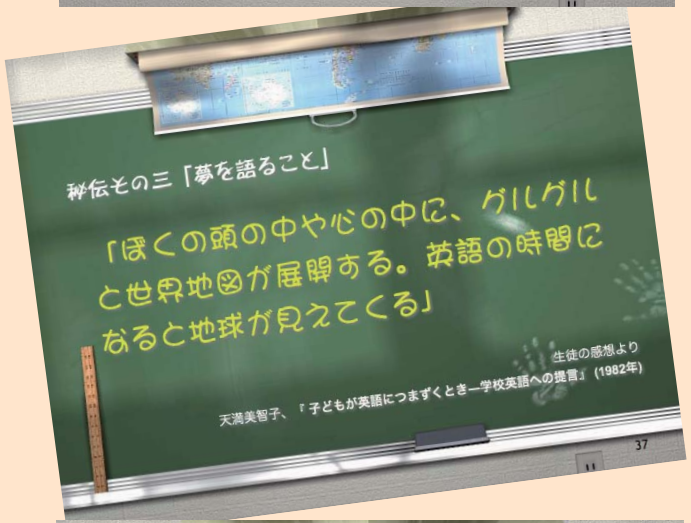
(注) 1.「教職に関する科目」は、原則配当年次に従ってすべて修得しなければならない
2.「教職に関する科目」は、卒業の要件とする単位に算入されないものとする
3. 第5欄の教育実習履修については、第6条に履修資格を定める

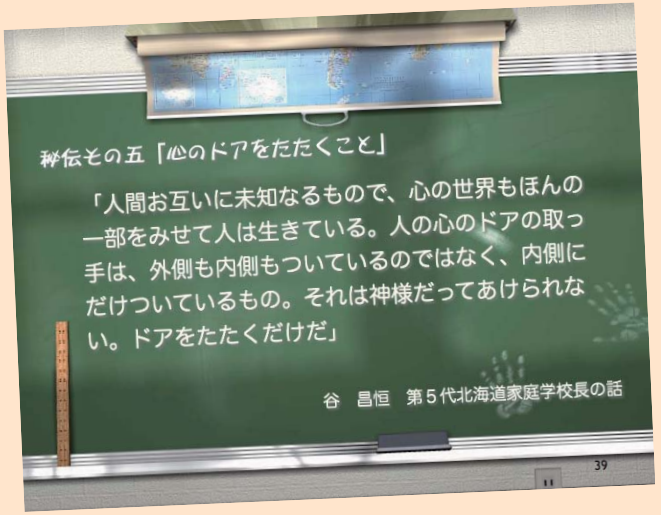


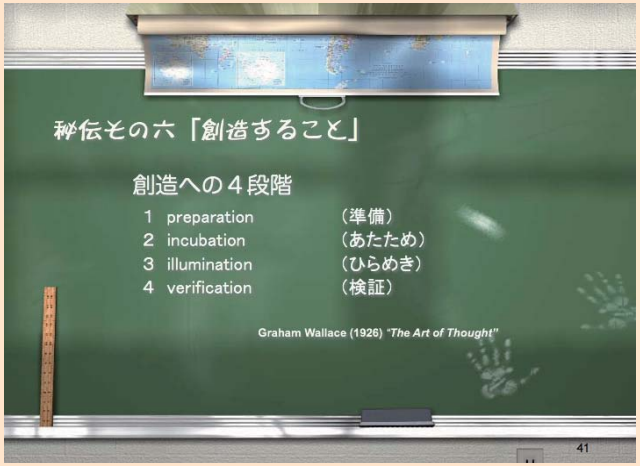












（物の見方ヒント：鏡）秘伝その七からは授業で

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学
教員養成センター Teacher-training Center
中井弘一
中垣芳隆、東條加寿子、夫明美
浅田晋太郎、津戸真弓
540-0004　大阪市中央区玉造２丁目 26 番 54 号
Tel: 06-6761- 9371　Fax: 06-6761-9373
Homepage: http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc
e-mail: ttc@wilmina.ac.jp